

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日 4月15日（日）

年度が変わりました。30年度の始まりにあたり、家族そろって食事をとりながら、互いの学校や職場の様子などについて語り合い、充実した年度になるようにしましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail: [youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。

(秘密厳守)

## スマホが悪といえるのか

千曲市教育委員会教育委員 坂本 孝夫

スマホをいじってばかりで、勉強しない。こんな話題が小中高生のいる家庭から聞こえてきます。あのような魅力的な機器を持てば、その虜になるのは当然で、大人も手放せなくなってしまうのですから、子どもだって言うまでもありません。

では、「スマホが悪」といえるでしょうか。私は、そうは思いません。「仮にスマホやゲームがなければ、子どもたちは本気で勉強するのか」ということ。それらがなければ今度は漫画やテレビかもしれないし、外で一日中遊んでいるかもしれない。

さて、この問題の本質は何でしょうか。それは、スマホよりも魅力的なものが見つかっていないということです。スマホやゲームより本を読むことが楽しい子は本を読みますし、勉強の楽しさを知っている子は遊びには没頭しません。

それでは、具体的にどうすればいいのでしょうか。次の観点から考えてみてください。「間接的誘引」という方法です。

間接的誘引とは、自分の人生の方向に影響を与えかねない出来事や、人、場所、物などに出合い、それに関心を抱き引き込まれていくことで、勉強が「間接的に必要だ」と認識させるやり方です。子どもにこうしたきっかけを与えてやる方法として、例えば、次のようなことが思い当たります。

- ① 大人が集まる場所に連れて行く。
  - ② 親が働いている姿を見せる。
  - ③ 親の仕事の話をする。
  - ④ 旅の企画を一緒に考えて家族旅行をする。
  - ⑤ イベントに参加させる。
  - ⑥ 講演会に連れて行く。
  - ⑦ アルバイトをさせる。
- これらは、世間でよく言われるような内容ばかりですが、こうしたことすらも実際にはやっていないことが、少なくないのではないのでしょうか。

何が子どもの心に引っかかるかわかりませんが、様々なチャレンジをしてみましょう。すると、子どもの心に揺さぶりをかける出来事に出合う確率が、ぐっと高まります。

## ～ 3月の定例補導委員会議より～

3月1日に定例補導委員会議が開催され、以下の事項等について協議・連絡をおこないました。

1. 千曲警察署生活安全課より
  - ・不審者事案が発生した時、即時パトロールを実施していただき感謝。本年は例年にない早さで不審者事案が発生している。連続しているものも多くある、ご協力を。
2. 平成30年度補導活動に向けて：アンケートの結果報告。改善しながら実施していくことを確認。
3. 1・2月の補導活動を振り返って
  - ・不審者対応の青パト巡回が多くあった。戸上地区・更埴地区という担当地区を越えて柔軟に巡回していただいた。今後もその方向で。
4. 3・4月の補導日程の確認
  - ・4月：補導委員の学校訪問 16日～（午後3時～5時30分）2年任期の初年度、担当地区の学校を訪問し、情報交換をする。通常補導：20日～（午後4時～6時）青パトで巡回する。
5. 平成30年度千曲市少年補導委員会総会等 4月10日（火）午後2時から 戸倉創造館にて



## 補導日誌から



### 外遊びが減っています

2月19日（月） 3:00pm～5:00

五加地区と埴生地区の公園をパトロールしました。今年は天気がよくても気温が低く寒い日が多く、今日も下校の子ども達は見かけても、巡回した公園にはだれもいませんでした。今年度もあとわずかです。一年間を振り返ってみると、外で遊ぶ子ども達は本当に少なくなっていると感じました。何ができたかわからない一年でしたが、大きな事件事故等がなかったのは幸いです。ありがとうございました。

### 青パトが走るその抑止効果を願って

2月20日（火） 3:00pm～5:00

千曲市でも色々な場所で不審者事案が発生しているので、今回は屋代駅をスタートして、稲荷山・八幡方面、平和橋を渡って埴生・屋代方面、そして森・倉科などの東部地区、最終屋代高校前駅まで全行程33kmという広範囲に渡る青色パトによる巡回を実施しました。寒い時期でもあり、公園に子ども達の姿はありませんでした。屋代駅と屋代高校前駅では、子ども達へ声かけをしました。また、ギャラリー職員の方に最近の様子を伺ってみました。特に変わった様子はないとのことでした。

### 地域の方に守られて

2月21日（水） 3:00pm～5:00

科野の里ふれあい公園に行ってみると、中学生が3人で遊んでいました。声をかけたら元気に答えてくれました。ただ、この寒い公園までやって来て、ゲームをやっていることが気になりました。更埴中央公園に回ってみました。誰もいないと思って行ったのですが、育成会のサッカー部の子ども達が元気に練習をしていました。寒い中元気に飛び回っている子ども達に出会うと、パトロールしている側としては見ているだけでもうれしいものです。パトロール中、地域の大勢の方々が子ども達の下校時の交通指導に当たっておられました。それぞれの立場で子ども達の成長を見守っていきたいと思いました。寒い中ご苦労様です。

### 5時まで遊べる貴重な時間

2月23日(金) 3:00pm~5:00

八幡地区を巡回する日でしたが、事前に雨宮の日吉神社周辺を変質者が歩いていたとの事務局からの連絡があったので、日吉神社方面へ向かい神社周辺や境内を巡回してきました。特に異常はありませんでした。(行為者が特定され、この事案は解決しました。)八幡の北堀公園では、小学生の男の子2人がブランコで遊んでいました。そばにサッカーボールがあったので聞いてみると、これからサッカーをするので友達が来るのを待っているとっていました。日が差していても風は冷たく寒い日でしたので、早く家に帰るよう声をかけると、5時には帰りますという返事が返ってきました。

### 安全面で気になる場所がありました

3月2日(金) 3:00pm~5:00

更級地区を経由して八幡バイパスの斉の森信号付近に行ってみると、バイパスの脇にちょっとした駐車スペースがあり、車が3台程駐車していました。そこは通学路にも近く、バイパスの下に暗い側道トンネルもあり、安全面で気を付けたい場所だと感じました。八幡小学校から小船山公園へと向かい、通学路を中心に巡回しました。子ども達はようやく下校しはじめている状況でした。黒彦神社に行ってみました。以前巡回した時は、大勢の子ども達が遊んでいましたが、最近は遊ぶ姿が少なくなりました。

### 手を振ってくれる子ども達

3月5日(月) 3:00pm~5:00

補導活動時には、多少雨が降っていたので外に出ている子どもの姿はありませんでした。小学校から帰る子ども達が通りかかったので、気を付けて帰るように声かけをしました。青パトのイメージが浸透してきているのか、返事の代わりに手を振る子どももいました。更級児童館に行ってみると30人程の子どもがいたので、不審者に注意する様に話をしてきました。その後、過去に不審者情報があった八幡地区、小船山公園の周辺をパトロールしてきましたが、異常はありませんでした。

### 側道の怖さ、車は来ないという思い込み

3月7日(水) 3:00pm~5:00

屋代駅は今のところ変わりはないそうです。駅の市民ギャラリーでは、写真愛好家の皆さんの写真展が開催されており、それぞれに個性のある作品が展示してありました。辻公民館付近の道路で小学生がスケートボードに乗っていたので、道路は危ないから他の場所でするように声をかけました。

## 編集室の窓

### 「そうだね」は 納得の合図

駅舎の入口前で制服姿の女子高校生3人が輪になってスマホに熱中、他のお客さんの邪魔になっていました。そこに補導委員の巡回。腕章をつけていますから、「お客さんの邪魔になるから端によってね」と端的に指導してもよいのですが、そこでは以下のような会話が合ったのです。(補導日誌より抜粋)

問:「スマホを1日どの位するの」 答:「学校の休み時間と放課後、それからちょっとした時」

問:「今何を(スマホの内容)しているの」 答:「ラインだよ」

問:「ラインは申込みばお金がかからないネ」 答:「だからラインだよ」

<話を交えて>

問:「ここはあんまり真ん中すぎるから少し端に寄ろうヨ」

答:「そうだね」…あたりを見回して端に寄りました。

「場所をわきまえない問題の高校生」が、いつの間にか「素直さが伝わってくる高校生」になっていました。背中を向けられたら、どんな正論も相手の心を動かすことはできません。女子高校生の素直さを表に引き出してくれたのは補導委員さんの対応でした。「そうだね」の納得が嬉しい。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。(3月に卒業した子ども達です)

ぼくの将来の夢は、まだはっきりとは決まっていません。でも、他の人の役に立てて尊敬されるような人になりたいと思っています。

できれば人の役に立てるような仕事につき、まわりの人達と協力し合えるような大人になりたいです。

人の役に立つということは、ぼくはとても大事なことだと思います。ぼくも、まわりの人に助けてもらったことがたくさんあります。例えば、ぼくが給食着を忘れてしまったときに、A君が貸してくれて、とてもうれしかったことがありました。困っているときにすぐに助けてくれる友達に「ありがとう」という気持ちです。そして、ぼくは、友達に限らず、家族や先生方などいろいろな人に感謝しています。お世話になっていることを当たり前だと思わず、感謝しながら生きていきたいと思っています。

(6年 緑川 幸弥)

ぼくの将来の夢は数学者です。

小学校1年生から今まで算数が大好きで、少しだけ得意でもあるからというのが一つ目の理由です。

二つ目は、まだだれも発見していないような数の法則など、新しい数の知識を見つきたいからです。

三つ目は、自分と他の人との協力して様々な問題を解いたり、自分だけで解いたりすると、算数は「ああ、スッキリした」や「やっと解けた」などのやりがいを感じるからです。また、ずっと分からなかった問題が解けたときは、とても気持ちがいいです。

これからも、できれば数学者をめざしてどんどん数学の知識を深めていきたいと思っています。

(6年 中條 遥斗)

ぼくは将来、プロのロードレーサーになりたいです。そして、ジャパンカップで優勝したいです。日本人だけでなく外国の選手にも認められるような選手になり、オリンピックに出て日本人初のメダルを取りたいと思っています。ヨーロッパの大会にも出ていろいろな人にこの競技のおもしろさを知ってほしいというのが将来の夢です。そのために今から練習をして大会で結果を残し、高校ではインターハイで1位を取りたいです。支えてくれる親などに感謝の気持ちを忘れないようにし、結果を出して親に感謝の気持ちを伝えていきたいと思っています。中学でも体をしっかり動かし、夢をかなえられるようにがんばります。将来に向かってはばたいていきたいなと思っています。

(6年 寺島 京那)

私の将来の夢は、シンクロナイズドスイミングで、ナショナルチームに入ることです。そして、日本代表として大きな大会に出場して活躍する選手になりたいです。

私のクラブチームには、大きな大会に日本代表として出場する先輩方がいます。その先輩方に近づけるように、自分の足りないところを補えるように努力して上達していきたいです。私の足りないところは、柔軟性と表現力です。体を柔らかくするために、家でコツコツと柔軟体操を続けたいし、表現力を高めるために、大きな動きに見せられるようバレエのレッスンをしっかり行い、体幹を強くしていきたいと思っています。また、表情でも表現できるよう、きれいなものを見て、身に付けていきたいです。

このように、少しずつ努力を重ねていって夢を実現させたいです。

(6年 和田 京羽)